

2015年度 マインハルト プリンツ氏 ピアノ 特別講義
“ペダルを聴く”ペダルの多様な使い方

1. 日 時 : 2015年9月24日(木)13時30分~15時00分
2. 場 所 : ミレニアムホール
3. 対 象 学 生 : 大学 ピアノ専攻 2年生 他聴講可
4. 講 師 紹 介 : マインハルト プリンツ 氏 Meinhard Prinz

ピアニスト・ウィーン国立音楽大学教授。

オーストリア・ケルンテン州出身。オーストリア音楽コンクール第1位を得、特別賞としてハンガリー国立リスト音楽院に給費留学。その後ウィーン国立音楽大学でピアノと伴奏法を学び、最優秀で卒業。以来同大で教鞭を取るかわら、オーストリアを代表するピアニストの一人として世界各地でソロリサイタルやウィーン・フィルのメンバーとの室内楽演奏などで活躍。そのレパートリーは幅広く「伝統的なクラシック音楽本来の芸術性を転生に持つピアニスト」として、その美しい音色とともに高い評価を受けており、同州より文化芸術大賞を受賞。また、日本においても各地の音楽祭やマスタークラス、オーケストラとの共演など数多い。

5. 講 義 概 要 :

“曲の数だけペダルの活用法が広がる”

ペダルの可能性を演奏と解釈を通して探る

古典派とロマン派の作品でのペダルの使い方の違いについて

モーツァルト : ピアノソナタ 第13番 変ロ長調 K.333
ピアノソナタ 第17番 ニ長調 K.576

リ ス ト : 子守歌 S.174
ウィーンの夜会 S.427 より 第9番

シ ョ パ ン : バラード 第1番 ト短調 op.23

他
通 訊 中 田 留 美 子
(二期会会員)

※筆記用具持参のこと。